

第5回文化祭

市民参加の文化の祭りへ

あなたも出品・出演を

会期・10月29日～11月4日
(茶道は11月2日まで)

舞台・11月3日～4日

物産展
土曜日 11月2日～3日
(予定)



今年の県芸術祭の主な行事日程も決まり、各市町村で参加行事が行われることになっています。南国市もこの参加行事として、十月二十九日から十一月四日まで文化祭が行われることになりました。文化祭は、公民館学習や各サークルを中心とした文化活動を通じて文化芸術に対する理解を深め、生活にうるおいをもたせ、地域における文化の振興をはかることを目的としています。

出品(出演)は、レベルの高いものから未熟なものまで千差万別ですが、これは日頃楽しみながらまた苦勞を重ねながら努力をした結果です。

この市民参加の文化の祭りも今年で第五回目。参加者も次第に増え、市民の中によりやく定着してきた感じもします。

みなさんも、市民ならだれでも自由に参加できる文化祭に日頃の成果を発表してみませんか。また、他人の作品や発表をみることもだけでも身につけることができる文化の鑑賞においでませんか。

四時から五時まで。後かたづけを共に行う。

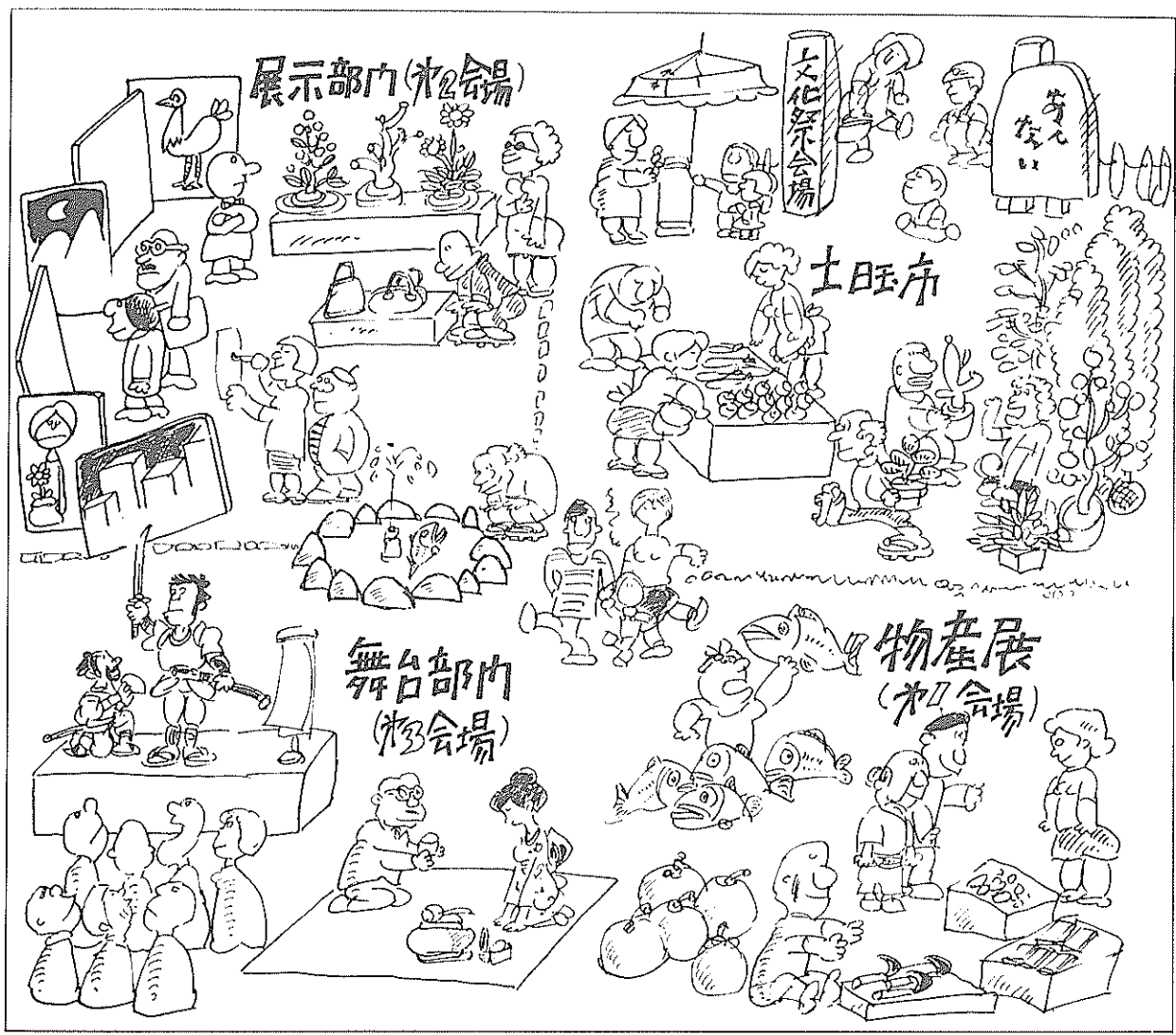
出品規定は次のとおりです。

▽絵画には必ず額縁をつけ二十号以内とする。写真、漫画は展示に必要な装飾をつけ、大きさは写真四ツ切以上・漫画B二以内とする。書道の一般作品の大きさにについては画仙紙全紙までとし、枠装、軸装は自由。児童生徒の作品は半紙大とし、装丁は自由。俳句、短歌の作品は台紙または色紙、短冊掛、画額に入れるなど装丁すること。

▽作品は、必ず所定の出品票に正副記入し受付に提出すること。▽出品(出演)する者は、必ず文化推進協議会の登録をすること。

中央公民館あるいは会場受付で二百円払うことにより、いつでも参加料(一人一部門)三百円がいられます。▽作品売却の場合は、売上金額の二割を文協に寄付すること。

詳しいことについては、中央公民館 ☎43498、(向)4639または各部門代表までお気軽におたずねください。



- 展示部門
 - 絵画・漫画・写真・書道・俳句・短歌・8、9、生花・アートフラワー・工芸・袋物工芸・茶道
- 舞台部門
 - 音楽(コーラス)・歌曲・大正琴・詩舞・詩吟・日本舞踊・民謡
- 期日・十月二十九日(日)から十一月四日(月)までの七日間。なお、茶道は十一月二日(木)まで。舞台部門は十一月三日(金)、四日(土)の二日間。
- 会場・展示部門は中央公民館、舞台部門と茶道は大塚公民館。
- 審査・無審査とする。
- 作品搬入日・十月二十八日(日)午前九時から午後四時まで。ただし生花、茶道は午後一時から。
- 作品搬入場所・中央公民館(大塚) ☎43254
- 作品搬出日・十一月四日(月)午後

- 道(大塚 ☎43077) 池知隆(市役所 ☎21111 内線407)
- 漫画・沢本英世(市役所 ☎21111 内線133) 写真・水田貴士(岡豊町 ☎4300) 藤田威佳志(市役所 ☎21111 内線213) 俳句・香川嘉美子(大塚 ☎43975) 8、9、和田正文(大塚 ☎43806) 工芸・中屋健興(片山) 袋物工芸・森田つや子(岡豊町 ☎2094)
- 道(大塚 ☎43077) 池知隆(市役所 ☎21111 内線407)
- 漫画・沢本英世(市役所 ☎21111 内線133) 写真・水田貴士(岡豊町 ☎4300) 藤田威佳志(市役所 ☎21111 内線213) 俳句・香川嘉美子(大塚 ☎43975) 8、9、和田正文(大塚 ☎43806) 工芸・中屋健興(片山) 袋物工芸・森田つや子(岡豊町 ☎2094)
- 道(大塚 ☎43077) 池知隆(市役所 ☎21111 内線407)
- 漫画・沢本英世(市役所 ☎21111 内線133) 写真・水田貴士(岡豊町 ☎4300) 藤田威佳志(市役所 ☎21111 内線213) 俳句・香川嘉美子(大塚 ☎43975) 8、9、和田正文(大塚 ☎43806) 工芸・中屋健興(片山) 袋物工芸・森田つや子(岡豊町 ☎2094)

物産展・土曜日も開催

文化祭の趣旨に賛同して、市商工会は会場付近に物産展と土曜市を開催することになりました。

物産展は、豊富な山、海、野の幸―市の物産を市民に広くPRしよう―と開かれるもので、今年三月に第一回目を開催し約三千

人の市民が訪ずれ、なかなかの盛況ぶりでした。

また、土曜市は市政十周年を迎えた四十四年にスタートして以来のもので、今年で九年目になります。市民に季節の野菜や鮮魚、日用品を販売して好評となつていますが、物産展と同様、店開きすることになっています。



会場は、物産展が市民体育館で、土曜市が市民体育館の北側駐車場、十一月二日(木)、三日(金)の両日予定で開催されます。

この秋は、文化祭と物産展・土曜市の共催で、会場には多くの市民が訪ずれることになりそうです。

市文化推進協議会
中央公民館